

株式会社 小松村田製作所



◎ 事業所概要

企業名 : 株式会社 小松村田製作所
代表者氏名 : 代表取締役社長 中山 能勝
所在地 : 小松市光町 93 番地
業種 : 電子部品・デバイス・電子回路・電気機械器具・情報通信機械器具製造業
労働者数 : 726 人

◎ 行動計画

- | | |
|--------|---|
| 1 計画期間 | 平成30年4月1日 ~ 令和3年3月31日 |
| 2 内容 | |
| 目標 | ○従業員の両立支援に対する意識の醸成が図られているか、効果確認を行う。
○仕事と家庭の両立をし易い環境を整えるため、総労働時間の削減を行う。
○次世代を担う子どもたちの健全な育成を支援する。 |

◎ 認定取得に向けた取組状況

- ・両立支援ハンドブックの内容の更新や、「キャリアマネジメント研修」・「キャリアデザイン研修」の実施等の取組を行い、従業員の両立支援に対する意識の醸成を図った。また、各種両立支援制度の利用実績の確認や研修時にアンケートを実施することで、取組の効果確認を行った。
- ・仕事と家庭の両立をし易い環境を整えるため、「最低年6日の年次有給休暇」を目標として取り組み、達成することができた。また、総労働時間の短縮に効果が見込まれる部署へのフレックスタイム制の導入、職場単位での業務改善活動等に取り組んだ結果、業務工数の削減が進み、総労働時間の削減を達成した。
- ・地域の小中学生を対象とした「理科教室」や「環境教育」などの出張教育の実施、社員の子女を対象とした「子ども参観日」等の社内イベントを実施することで、次世代を担う子供たちの健全な育成を支援した。

企業からのひとこと

○行動計画に基づく取組に当たって工夫した点

仕事と家庭の両立がしやすい環境を整えるため、適正な労働時間管理を行うにあたり、従業員代表にも協力をいただきながら、残業ゼロデー週2回の導入や、労働状況のヒアリングを行い、従業員への意識づけを着実に進めてきたことにより、メリハリのある働き方ができてきたと感じます。

○行動計画に基づく取組の効果・課題

労働時間については、働き方改革により業務単位の見直しを進め、より一層の業務効率化を目指します。また、育児休職をはじめ育児に関する制度は導入し利用しやすい環境にありますが、まだまだ男性社員の取得が少ない状況であるため、出産届出などの際に会社側からも案内などを行い、少しずつ制度利用者を広げていきたいと考えています。

○育児関連休業を取得した男性社員の声

■ 育児休職を取得した感想

- ・配偶者の産後の体調回復を最優先で最初の3ヶ月はすべての家事・育児にチャレンジしました。一人暮らしの経験があったため多少自信はありましたが、育児は思うようにいかず、苦労しながらの毎日でした。改めて振り返ると「配偶者の大変さを実感できたこと」、「子供の成長をこの目で見る事ができたこと」は貴重な体験であったと思います。（製造部技術課 42歳）
- ・交替勤務であり、もともと家事には積極的に参加していましたが、子どもが増えることで配偶者の負担も大きくなり、2人目・3人目の出産後に育児休職を取得しました。夫婦で家事や子供の世話をすることで、それぞれの負担は減り、自分が実際にやってみることで配偶者の気持ちを理解・共有できるようになり夫婦円満・家族円満につながったと思います。（製造部製造課 43歳）

■ 男性社員に伝えたいこと

- ・育児休職から復職すると「子供と過ごす時間」がとても減ります。帰宅したときに配偶者から「今日はあれができるようになったよ！」「さっきこんなことしたよ！」と話は聞けますが、直接自分の目でその瞬間を配偶者と共に体験することは少なくなります。育児休職という短い期間ですが、「我が子の成長の瞬間に立ち合うこと」は大変貴重ですし、配偶者の負担を分かち合い理解することができた経験は、今後の家族生活でも活用できるため、男性の育休取得はおすすめです！（製造部技術課 42歳）